

センチュリーラン笠間2015

9月6日(日)に笠間芸術の森公園を発着点として、センチュリーラン笠間2015が開催されました。

センチュリーランとは、自転車で「百マイルを8時間で走れるか」という基準を設けた自己チャレンジの長距離走で、今回は大会20回を記念し、走行距離155kmの部と93kmの部のほか、35km程度の距離を地元ライダーが案内する観光名所巡りの周遊サイクリングコースが設けられました。当日は天候に恵まれ、参加者たちは思い思いの走り方で風を感じながら楽しみました。



スタートの様子

鉄友会がSLを清掃

10月14日(鉄道の日)に、石井街区公園内に静態保存されている蒸気機関車(C58-275号)の清掃が行われました。

清掃を行ったのは、JRのOBで構成される笠間鉄友会(石田 俊夫^{いしだ としお}会長)の皆さん。毎年ボランティアで行われているもので、今年は25名が参加しました。

汚れを丁寧に落とし、塗装がはがれた部分をペイントし直しました。清掃後ピカピカになったSLが、訪れる人々の目を楽しませてくれそうです。



磨き上げる笠間鉄友会の皆さん

A CITY
ICS

話題

木工教室でプランターづくり



木工教室の様子

笠間芸術の森公園イベント広場で、10月24日(土)に「いばらき都市緑化フェスティバル」が開催されました。

笠間市PRブースでは、森林湖沼環境税PRの一環として茨城県産の木材を利用した木工教室でプランターづくりが行われました。参加者は、釘打ちなどの作業に苦労しながらも、完成したプランターを手にとってもうれしそうでした。

新笠間市誕生10周年記念植樹を行いました

10月18日(日)に開催された笠間市民運動会に合わせ、新笠間市誕生10周年を記念して笠間市総合公園内において、市長をはじめ市内小学校の児童たちによってイロハモミジの記念植樹が行われました。

今後は、植樹された木の成長とともに、笠間市も成長していきます。ご来園の際は、ぜひご覧いただき温かく成長を見守ってください。



植樹に参加された皆さん



植樹している様子

笠間市スクエアステップ交流会を開催



参加者の皆さん

10月1日(木)に笠間市民体育館において、第5回笠間市スクエアステップ交流会(笠間市スクエアステップ・リーダー会主催)が開催されました。市内のサークル会員をはじめ、県内15市町のスクエアステップ団体から約630名が参加しました。

スクエアステップとは、マットに書かれた25センチ角のマス目の上をパターンにより、ステップしていく、転倒予防・認知症予防のための運動です。その他にもダンベル体操やロコモ予防体操を行い、交流を深めました。

にいなめさい 新嘗祭献穀献納式にて米と粟を献穀

新嘗祭は、例年11月23日(勤労感謝の日)に皇居で行われる新穀を供え感謝する祭祀で、宮内庁恒例祭典の中の最も重要なものとされています。

この新嘗祭に使用する新穀を献納する「新嘗祭献穀献納式」が10月23日(金)に皇居内で行われ、茨城県を代表して笠間市から生駒 敏文さん(上郷)が米を、深谷 章さん(南友部)が粟を献納しました。



坂下門前にて
左から山口市長、深谷ご夫妻、生駒ご夫妻、
県農林水産部 鈴木次長

笠間市に油絵を寄贈

市役所に、故 藤田 忠夫さんの油絵が寄贈され、10月7日(水)、藤田さんの妻 韶子さんに、山口市長から感謝状を贈りました。

寄贈された油絵は、鮮やかな緑の木々と、今にも水音が聞こえてきそうな透き通った水面が印象的ながら、どこか温かみのある作品で、題名は「釣人」です。

笠間市役所本所のロビーに展示されていますので、ぜひご覧ください。



藤田さん(左)と山口市長

常総市に対する被災地支援活動をおこないました



炊き出しをする笠間赤十字奉仕団の皆さん

笠間市赤十字奉仕団(鶴田 弘司委員長)は、台風18号による被害を受けた常総市の避難所等において、4日間に渡り、炊き出し・清掃活動といった支援活動を行い、炊き出しでは、約300食の豚汁を提供しました。

また、10月18日(日)に開催された、かさま市民運動会では義援金募集活動を行いました。募金いただいた41,407円は、日本赤十字社を通して全額被災者の方へお届けします。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

KASAMA
TOP
まちの